

株式会社全日本医療サービス

2021年度 環境経営レポート

(対象期間：2021年4月～2022年3月)

必要な時だけ呼べる大型シュレツダ搭載車
エコポリスバンで
機密文書
出張細断します。

医療機関、
教育機関の実績多数
高いリピート率

小型シュレツダの
20倍～50倍もの細断能力で
大量の文書も
スピーディに処理

グリーン購入法
に対応

現地までお伺いして
処理します
運搬時の機密漏洩の
リスク排除

製本された
厚い紙等も
お任せください

株式会社 全日本医療サービス

発行日：2022年7月30日

改訂日：2022年10月5日

目 次

- ① 組織の概要(事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等) [p2]
- ② 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間・次回発行予定日 [p4]
- ③ 環境経営方針 [p5]
- ④ 環境経営目標 [p6]
- ⑤ 環境経営計画 [p7]
- ⑥ 当年度の実績 [p8]
- ⑦ 実績グラフ (これまでの環境負荷等の推移) [p9]
- ⑧ 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 [p10]
- ⑨ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに
違反、訴訟等の有無 [p11]
- ⑩ 代表者による全体評価と見直し・指示の結果 [p12]

①組織の概要（事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等）

- ・事業所名 代表者名 株式会社全日本医療サービス 代表取締役 近藤貞夫
- ・所在地 本 社 岐阜県岐阜市黒野181番地の1
改田営業所 岐阜県岐阜市東改田再勝289-1
(積替え保管場所 岐阜市東改田再勝288-1)
- ・環境管理責任者 《環境管理責任者》 営業課長 松原秀典
及び担当者連絡先 《 担 当 者 》 営業 遠藤潤
TEL : 058-293-1138 FAX : 058-293-1136
- ・事業概要 ○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集運搬業
○機密文書、書類の出張細断業
○リネン・クリーニング業
◎岐阜県内の産業廃棄物収集運搬業者で初めて
2014年6月9日に特別管理産業廃棄物の優良事業者認定
- ・事業の規模 法人設立 1987年4月1日
資本金 2,400万円
売上高 303百万円 (第35期 2021年4月1日から2022年3月31日)

	本 社	改田営業所
従 業 員	5名	4名
延べ床面積	18㎡	300.46㎡ [積替え保管所145.36㎡]
駐 車 場	共有	215㎡

EA21活動従事者は、
全従業員を対象とする。

- ・産業廃棄物の積替え保管を行う場所 所在地 : 岐阜市大字東改田再勝288番1の一部

《保管面積・保管上限》	産業廃棄物 (保管面積 13.2㎡ 保管上限 22.3㎡)
面 積 : 2 9 2 ㎡	特別管理産業廃棄物 (保管面積 19.3㎡ 保管上限 37.2㎡)

- ・車両保有台数 7台

産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集運搬車両	4t保冷車 1台 2t保冷車 3台
機密文書、書類の出張細断車両	シュレッダ搭載車3t車 1台
リネン・クリーニング車両 / その他車両	バン 1台 / 営業車 1台

- ・受託した産業廃棄物の収集運搬量 2021年度実績 **1,231.3** (単位: t)

特別管理産業廃棄物	1,072.6	産業廃棄物	158.7
・感染性廃棄物	1,072.5	・廃プラスチック類	155.6
・引火性廃油	0.1	・金属くず	0.8
		・ガラスくず及び陶磁器くず	2.2
		・廃酸	0.07
		・廃油	0.01

- ・機密文書、書類の出張細断(シュレッダ)量 2021年度実績 **159.1** (単位: t)

- ・処理料金 収集運搬料金は、排出事業者の所在地・量・種類によって異なります。
お気軽に下記までご連絡ください。御見積は無料です。

連絡先 TEL 058-293-1138

・事業の範囲

◎岐阜市 産業廃棄物収集運搬業許可 《優良認定》

事業区分	収集運搬(積替え、保管を含む)	許可番号	許可年月日	有効期限
		優良06110001880	令和4年2月22日	令和11年2月21日
《産業廃棄物の種類》 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。)、金属くず(自動車等破砕物を除く。)、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。)上記7品目は、石綿含有産業廃棄物を除く。				
《積替え、保管できる産業廃棄物の種類》 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。)、金属くず(自動車等破砕物を除く。)、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。)上記7品目は、石綿含有産業廃棄物を除く。				

◎岐阜市 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可 《優良認定》

事業区分	収集運搬(積替え、保管を含む)	許可番号	許可年月日	有効期限
		優良06160001880	令和4年2月22日	令和11年2月21日
《特別管理産業廃棄物の種類》 引火性廃油、感染性産業廃棄物 以上2品目				
《積替え、保管できる特別管理産業廃棄物の種類》 引火性廃油、感染性産業廃棄物 以上2品目				

◎岐阜県 産業廃棄物収集運搬業許可 《優良認定》

事業範囲	収集運搬(積替え、保管を除く)	許可番号	許可年月日	有効期限
		優良02101001880	令和4年6月27日	令和11年5月18日
《産業廃棄物の種類》 汚泥、廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。)、金属くず(自動車等破砕物を除く。)、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。)上記4品目は、石綿含有産業廃棄物を除く。 廃油、廃酸、廃アルカリ 以上7種類				

◎岐阜県 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可 《優良認定》

事業範囲	収集運搬(積替え、保管を除く)	許可番号	許可年月日	有効期限
		優良02151001880	令和3年7月6日	令和10年6月8日
《特別管理産業廃棄物の種類》 引火性廃油、感染性産業廃棄物 以上2種類				

◎愛知県 産業廃棄物収集運搬業許可 《優良認定》

事業範囲	収集運搬(積替え、保管を除く)	許可番号	許可年月日	有効期限
		優良02300001880	平成30年12月12日	令和7年12月11日
《産業廃棄物の種類》 汚泥(水銀含有ばいじん等を除く。)、廃油、廃酸(水銀含有ばいじん等を除く。)、廃アルカリ(水銀含有ばいじん等を除く。)、廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)、金属くず(自動車等破砕物を除く。)、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。) 以上7品目(水銀使用製品産業廃棄物を除く。)				

◎愛知県 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可 《優良認定》

事業範囲	収集運搬(積替え、保管を除く)	許可番号	許可年月日	有効期限
		優良02350001880	平成30年12月12日	令和7年12月11日
《特別管理産業廃棄物の種類》 引火性廃油、感染性産業廃棄物 以上2品目				

◎三重県 産業廃棄物収集運搬業許可 《優良認定》

事業範囲	収集運搬(積替え、保管を除く)	許可番号	許可年月日	有効期限
		優良02400001880	令和4年3月28日	令和11年2月21日
《産業廃棄物の種類》 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を除く。)、金属くず、ガラスくず等(石綿含有産業廃棄物を除く。) 以上7種類 ※ガラスくず等とは、「ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築、又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず」をいう。				

◎三重県 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可 《優良認定》

事業範囲	収集運搬(積替え、保管を除く)	許可番号	許可年月日	有効期限
		優良02450001880	令和4年3月28日	令和11年2月21日
《特別管理産業廃棄物の種類》 引火性廃油、感染性産業廃棄物 以上2種類				

②対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間・次回発行予定日

登録事業者名： 株式会社全日本医療サービス

対象事業所： 本社、改田営業所

対象活動： 事業概要のとおり

対象範囲： 対象組織 本社、改田営業所

対象活動内容 ○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集運搬業

○機密文書、書類の出張裁断業

○リネン・クリーニング業

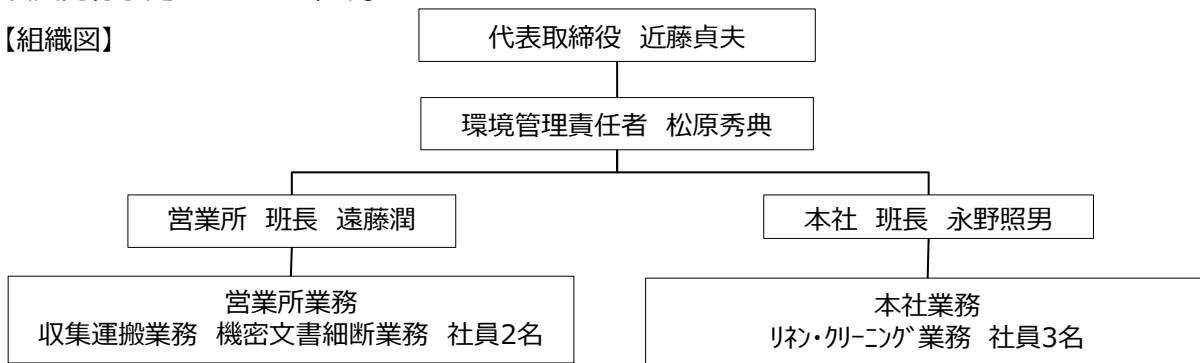
それらは全組織・全活動である

事業年度： 4月～3月

レポート期間（2021年4月から2022年3月まで1年間）

次回発行予定： 2023年5月

【組織図】



役割・責任・権限

《代表取締役》

- ・環境経営に関する統括責任 ・環境管理責任者を任命
- ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備
- ・環境経営方針の策定、環境目標及び環境活動計画書を承認
- ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施

《環境管理責任者》

- ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境経営目標、環境経営計画書を承認
- ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理

《班長》

- ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
- ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営の実績集計
- ・環境経営計画の実施及び達成状況報告 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
- ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・従業員に対する教育訓練の実施
- ・想定される事故及び緊急事態への対応の為の手順書作成試行訓練を実施、記録作成
- ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境経営レポートの作成、公開

《全従業員》

- ・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
- ・決められたことを守り、自主性、積極的に環境活動へ参加

③環境経営方針

環境経営方針

<環境理念>

株式会社全日本医療サービスは、環境保全を担う企業であることを認識し、すべての事業活動を通じて環境負荷の低減・再生利用の推進を目指します。

廃棄物の収集運搬業、機密文書の出張細断業、リネン・クリーニング業、すべての業務で環境問題を重視し、地球環境・生活環境の保全に努め地域社会に貢献します。

<環境保全への行動指針>

- ① 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します
- ② 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ③ 水資源の節水
- ④ 一般廃棄物の削減
- ⑤ 受託廃棄物の再生利用推進
- ⑥ 運搬業務中の事故注意喚起
- ⑦ リネン・クリーニング業務の運用管理規定の遵守
- ⑧ 会社周辺の清掃活動

この環境方針は、全ての従業員に周知徹底し、継続的に改善できるように取組みます。

制定日：2013年3月15日
一次改訂日：2014年3月20日
二次改訂日：2016年4月1日
三次改訂日：2019年4月1日
四次改訂日：2021年9月29日
代表取締役 近藤貞夫

④環境経営目標

2020年度実績を基準値とした、2021年度・2022年度・2023年度の環境経営目標を設定

	新・基準年	今期目標	年度目標	
	2020年度 実績	2021年度	2022年度	2023年度
電力の二酸化炭素 排出量削減 (単位：kg-CO ₂)	1,983 (内訳)	1,963 基準年比1%減	1,943 基準年比2%減	1,923 基準年比3%減
	本社 561	本社 555	本社 549	本社 544
	営業所 1,422	営業所 1,408	営業所 1,394	営業所 1,379
自動車燃料の二酸化炭素 排出量削減 (単位：kg-CO ₂)	71,185 (内訳)	70,473 基準年比1%減	69,768 基準年比2%減	69,049 基準年比3%減
	本社 1,283	本社 1,270	本社 1,257	本社 1,244
	営業所 69,902	営業所 69,203	営業所 68,511	営業所 67,805
一般廃棄物[事務所]の 削減 (単位：kg)	184.2 (内訳)	182.3 基準年比1%減	180.5 基準年比2%減	178.6 基準年比3%減
	本社 49.1	本社 48.6	本社 48.1	本社 47.6
	営業所 135.1	営業所 133.7	営業所 132.4	営業所 131.0
節水 (単位：m ³)	68.00 改田営業所のみ 使用量管理	67.32 基準年比1%減	66.64 基準年比2%減	65.96 基準年比3%減
機密文書の出張細断量 [受託廃棄物の 再生利用推進]	165t	166t 基準年比1%増	168t 基準年比2%増	170t 基準年比3%増
運搬中の事故注意喚起	緊急事態対応 教育訓練実施	緊急事態対応 教育訓練実施	緊急事態対応 教育訓練実施	緊急事態対応 教育訓練実施
リネン・クリーニング業務 (白衣・シューズ・衣類など)の 運用管理規定遵守	運用管理規定 遵守確認	運用管理規定 遵守確認	運用管理規定 遵守確認	運用管理規定 遵守確認
社会貢献 会社周辺清掃活動	週1回実施 記録簿管理	週1回実施 記録簿管理	週1回実施 記録簿管理	週1回実施 記録簿管理

・電力の二酸化炭素排出量換算係数

0.388kg-CO₂/kWh (2021年度中部電力ミライズの調整後排出係数)を使用

⑤環境経営計画

(目標達成するための取組)

	年度目標		
	2021年度	2022年度	2023年度
電力の 二酸化炭素 排出量削減	空調温度の適正化 (冷房28°暖房20°)	空調温度の適正化 (冷房28°暖房20°)	空調温度の適正化 (冷房28°暖房20°)
	利用状況に応じ照明OFF	利用状況に応じ照明OFF	利用状況に応じ照明OFF
	OA機器の見直し	OA機器の見直し	OA機器の見直し
自動車燃料の 二酸化炭素 排出量削減	エコドライブ10の取組 作業時間、待機時間、 走行距離の短縮化	エコドライブ10の取組 作業時間、待機時間、 走行距離の短縮化	エコドライブ10の取組 《10項目》 作業時間、待機時間、 走行距離の短縮化
	①ふんわりアクセル「eスタート」 ②車間距離にゆとりをもって加速・減速の少ない運転 ③減速時は早めにアクセル ④エアコンの使用は適切に ⑤ムダなアイドリングはやめる ⑥渋滞を避け余裕をもつ ⑦タイヤ空気圧チェック習慣 ⑧不要な荷物はおろそう	①②③④⑤⑥⑦⑧プラス ⑨走行の妨げとなる 駐車はやめよう ⑩自分の燃費を把握しよう	
一般廃棄物 (事務所ゴミ)削減	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底
	排紙のリサイクル化	排紙のリサイクル化	排紙のリサイクル化
	帳票見直しによる印刷物減	帳票見直しによる印刷物減	帳票見直しによる印刷物減
	文書の電子化	文書の電子化	文書の電子化
節水	節水ポスター掲示	節水ポスター掲示	節水ポスター掲示
	洗車工程見直し	洗車工程見直し	洗車工程見直し
受託廃棄物の 再生利用推進	機密文書の出張細断業務	機密文書の出張細断業務	機密文書の出張細断業務
運転中の 事故注意喚起	教育訓練実施	教育訓練実施	教育訓練実施
リネ・クリーニング業務 (白衣・シャツ・衣類など)の 運用管理規定遵守	運用管理規定遵守確認	運用管理規定遵守確認	運用管理規定遵守確認
社会貢献 会社周辺清掃活動	週1回実施	週1回実施	週1回実施

⑥当年度の実績

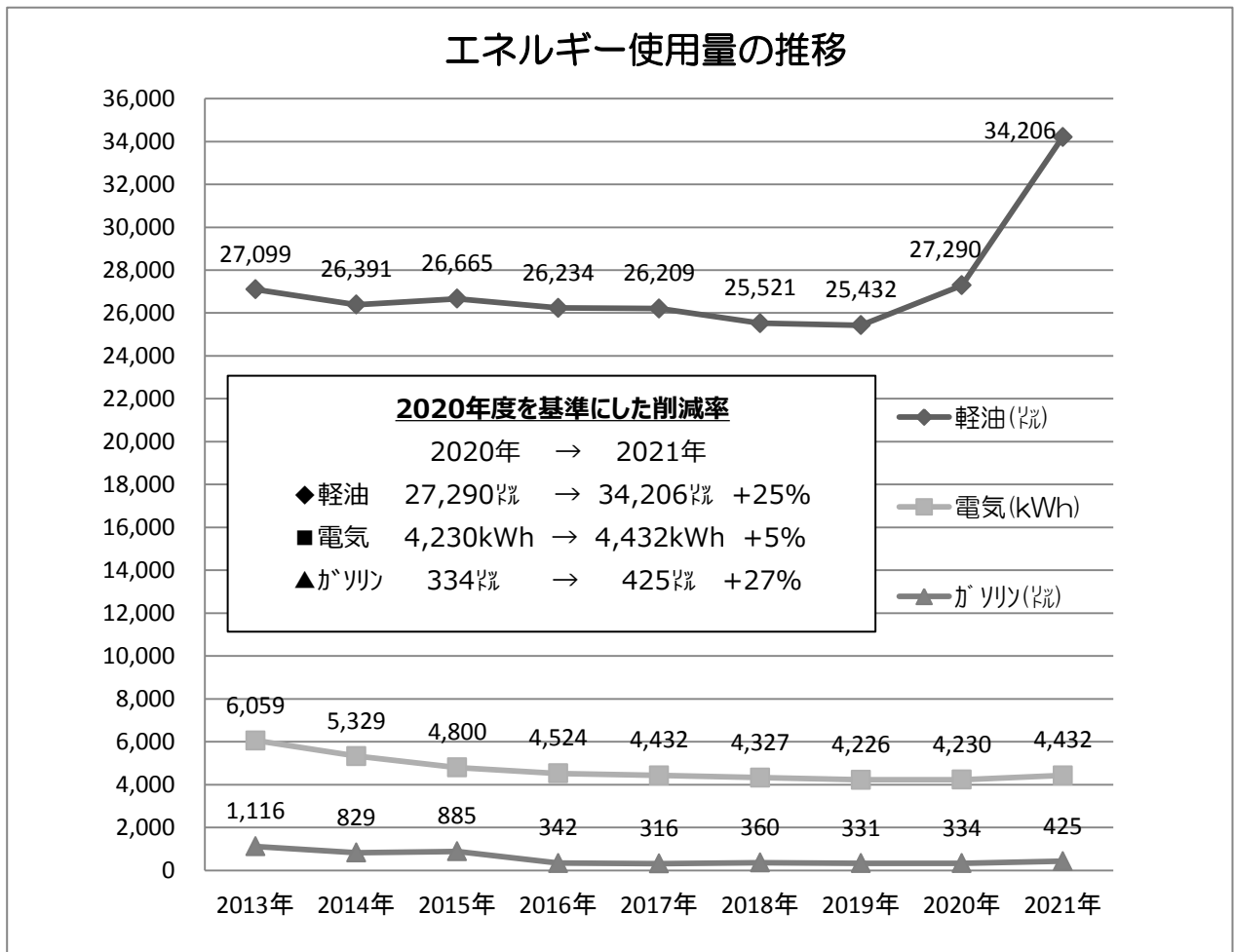
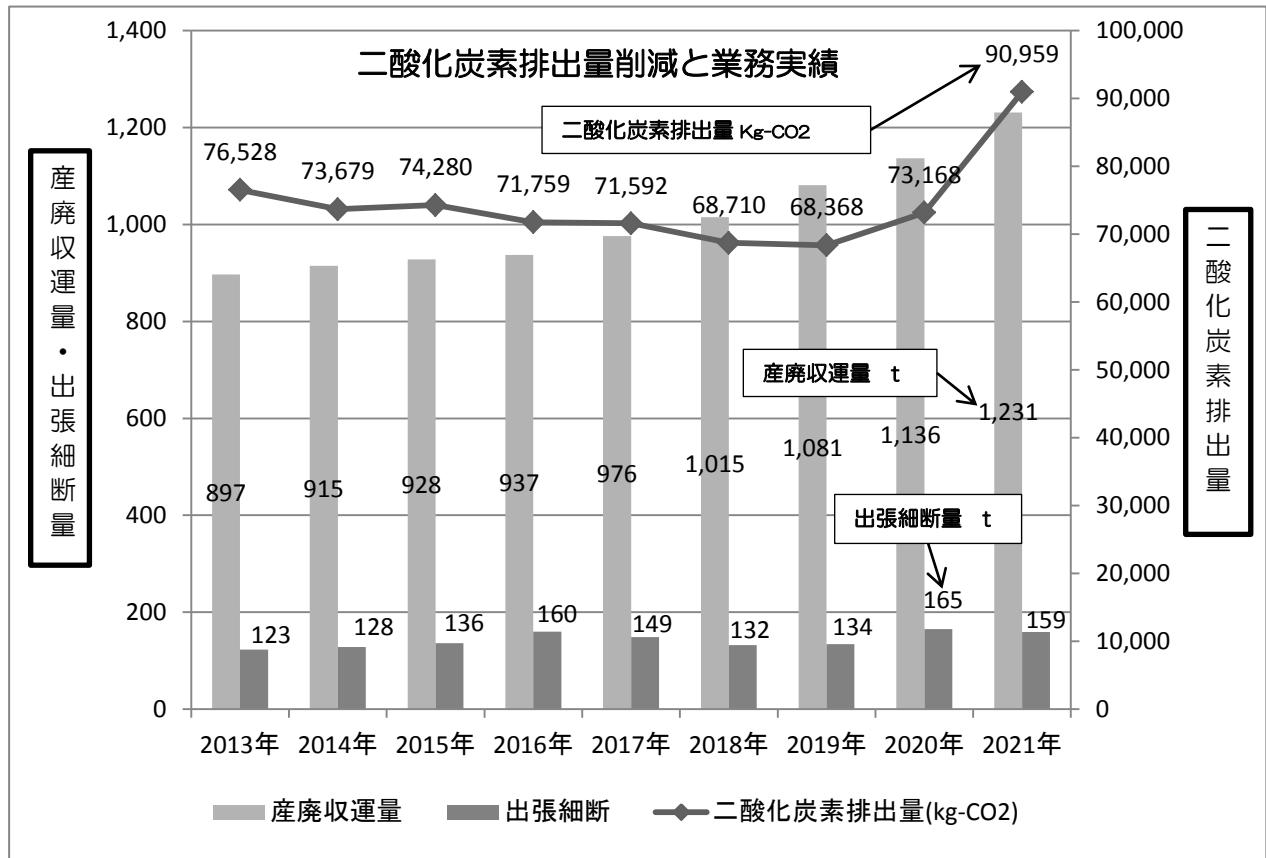
	2020年度実績 《基準年》	2021年度	
		《目標》	《実績》
電力の二酸化炭素 排出量削減 (単位：kg-CO ₂)	1,983 (内訳)	1,963 基準年比1%減	1,720 基準年比 5%減
	本社 561	本社 555	本社 445
	営業所 1,422	営業所 1,408	営業所 1,275
自動車燃料の二酸化炭素 排出量削減 (単位：kg-CO ₂)	71,185 (内訳)	70,473 基準年比1%減	89,239 基準年比 25%増
	本社 1,283	本社 1,270	本社 1,339
	営業所 69,902	営業所 69,203	営業所 87,900
上記二酸化炭素 排出量合計(単位：kg-CO ₂)	73,168	72,436	90,959
一般廃棄物 事務所ゴミ削減 (単位：kg)	184.2 (内訳)	182.3 基準年比1%減	182.8 基準年比 1%減
	本社 49.1	本社 48.6	本社 42.2
	営業所 135.1	営業所 133.7	営業所 140.6
節水 (単位：m ³)	68.00 改田営業所のみ 使用量管理	67.32 基準年比1%減	68.00 基準年比 増減なし
受託廃棄物の再生利用推進 機密文書の出張細断量	165t	166t 基準年比1%増	159t 基準年比 4%減
運搬中の事故注意喚起	緊急事態対応 教育訓練実施	緊急事態対応 教育訓練実施	緊急事態対応 教育訓練実施
リネ・クリーニング業務 (白衣・シーツ・衣類など)の 運用管理規定遵守	運用管理規定 遵守確認	運用管理規定 遵守確認	運用管理規定 遵守確認
社会貢献 会社周辺清掃活動	週1回実施 記録簿管理	週1回実施 記録簿管理	週1回実施 記録簿管理

※ 化学物質は使用していません。

・電力の二酸化炭素排出量換算係数

0.388kg-CO₂/kWh (2021年度中部電力ミライズの調整後排出係数)を使用

⑦実績グラフ これまでの環境負荷等の推移



⑧環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標 : ◎100%達成 ▲～80%達成 ×80%未満

取組状況 : ○よくできた △あまりできなかった ×できなかった

達成状況	取組み計画	次年度	評価(結果と次年度の取組内容)
◎	電力による二酸化炭素排出量の削減		<input type="checkbox"/> 目標維持 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 基準見直し
○	・空調温度の適正化 (冷房28℃ 暖房20℃)	継続	・目標値は達成できたが、電力の使用量は基準年比5%増加した。二酸化炭素排出換算係数を最新の値に更新したため、数値上、二酸化炭素排出量は5%削減となった。比較係数が異なるので次年度は、同じ換算係数を使用した2021年度を基準値として取り組む。使用量削減は、引き続き取組計画のリストに基づき削減を目指す。特に事務所内のエアコンの使用量が多いので、増加する夏場と冬場に節電意識を高く取組む。
○	・事務所利用状況に応じ照明OFF	継続	
○	・OA機器の見直し	継続	
×	自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減		<input type="checkbox"/> 目標維持 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 基準見直し
○	・作業時間や待機時間、 走行距離短縮化	継続	・自動車燃料はガソリン、軽油ともに使用量が増加。前年から引き続き、新型コロナウイルス対策による医療機関からの業務依頼が増加。処分場への搬入回数も増え、走行距離が大幅に増えた(走行距離、前年25%増。軽油使用量、前年28%増)。使用量に対する燃費では、前年6.56km→今期6.55kmとほぼ同燃費であったので、削減への取組計画は達成できていた。次年度の搬入計画も減少の見込みはないので、今期の使用量を基準値として、引き続き削減リストに取り組む。
○	・効率的なルートで配送	継続	
○	・Eコトドライブ10の取組《10項目》	継続	
▲	一般廃棄物の削減		<input checked="" type="checkbox"/> 目標維持 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し
○	・分別の徹底 排紙リサイクル化	継続	・一般廃棄物の削減については、営業所で増加したが、本社では削減に取り組めた。合計は目標値にわずかに達成できなかった。次年度は市の指示により、一般廃棄物の排出方法が変わるため、可燃ごみと、プラを分別して排出することになる。焼却処分が減り、資源化になるため分別の徹底に取り組む。
○	・帳票見直しによる印刷物減	継続	
○	・文書の電子化	継続	
▲	水使用量の削減		<input checked="" type="checkbox"/> 目標維持 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し
○	・節水ポスター掲示	継続	・水の使用量は、前年度と同じ使用量で、目標の1%減は達成できなかった。次年度も引き続き、手洗いなど感染対策の徹底や、車両の清掃・洗車など衛生面を最優先に考えながら節水に取り組む。必要な感染対策としての使用は積極的に行い、手指のアルコール消毒なども併用しながら、節水につながるよう取り組む。
○	・洗車工程の見直し	継続	
▲	機密文書の出張裁断による再生利用推進		<input checked="" type="checkbox"/> 目標維持 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し
○	・機密文書の出張裁断量の増加	継続	・シュレッダ業務の機密文書の出張裁断量は、前年比4%減となり、基準年の過去最高値を超えることはできなかった。取組としては、大口のリポートや新規依頼の獲得により、順調に年間として再生利用推進につなげられた。次年度も信頼して業務依頼をもらえるよう全員で取り組む。
◎	運転中の事故注意喚起		<input checked="" type="checkbox"/> 目標維持 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し
○	・教育訓練の実施	継続	・運転中の事故注意喚起では、実際のドライブレコーダーの映像を確認しながら教育訓練を実施できた。また物損事故防止のため、車両の車幅や高さを日常業務で目にするよう意識付けに取り組んだ。道幅の狭い道路や、事故の多い時間帯など、リスクを回避できるような運転を意識して安全運転に努める。
◎	リネン・クリーニング業務の運用管理規定遵守		<input checked="" type="checkbox"/> 目標維持 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し
○	・運用管理規定の遵守確認	継続	・リネン・クリーニング業務の運用管理規定では、教育訓練で白衣・シーツ・入所者の衣類など、種類ごとに注意点を確認できた。次年度も、毎日の業務で運用管理規定を遵守しながら、感染対策も徹底し両立して安全で衛生的な業務に取り組む。
◎	社会貢献会社周辺清掃活動		<input checked="" type="checkbox"/> 目標維持 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し
○	・実施記録票にて管理	継続	・社会貢献会社周辺の清掃活動として、週1回以上のペースで会社周辺のごみ拾いや雑草の草刈りに取り組めた。業務が多忙になり、業務時間内での活動が困難な時期は、朝の出勤を少し早めるなどして全員で取り組めた。次年度も、無理のない範囲で取組み時間を確保して全員で清掃活動を続ける。

⑨環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無

・環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

適用される法規制	該当する要求事項	適用される事項 (施設・物質・事業活動等)	遵守評価 2022年3月28日
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> ・委託基準 法12条の4 ・保管基準 法12条2項 ・産業廃棄物管理票 法12条3,4,5 ・報告書の提出 法12条3 ・運搬時の表示、 書類携行 則7条の2 	【産業廃棄物】 ・収集運搬業 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、 廃プラスチック類、（自動車等破 砕物を除く。）、金属くず（自動 車等破砕物を除く。）、ガラスく ず・コンクリートくず（工作物の 新築、改築又は除去に伴って生じ たものを除く。）及び陶磁器くず （自動車等破砕物を除く。）	○
		【特別管理産業廃棄物】 ・収集運搬業 感染性廃棄物、引火性廃油	
		【積替え保管施設】 改田営業所	
浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> ・第11条 	浄化槽使用 （貸主管理会社の管理となるが、使 用責任として実施を確認する。）	○
自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・第8条 ・第73条 	車両購入時にリサイクル料金の支 払い	○
道路運送車両法	<ul style="list-style-type: none"> ・第74条 	定期点検整備 安全運転管理者選任 運行日誌	○
グリーン購入法	<ul style="list-style-type: none"> ・第5条 	環境に配慮した製品の選択	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

・違反、訴訟等の有無

当社の事業活動に関する法令違反はありません。

関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間なく、訴訟もありません。

⑩代表者による全体評価と見直し・指示の結果

【実施日】

2022年3月31日

【環境管理責任者の報告内容】

- ・ 取組状況の評価結果
- ・ 目標、環境経営計画の達成状況
- ・ 周囲の変化の状況

【見直し、変更の必要性（有・無）】

・ 環境経営方針 変更の必要性 (有) ・ 無)

・ 環境経営方針内での継続的改善を誓約することの追加。

・ 環境経営目標 変更の必要性 (有) ・ 無)

・ 電力の二酸化炭素排出量削減について、排出量換算係数を最新に変更したが、基準年が古い係数のままで比較できないので今期の実績を改めて基準年とする。

自動車燃料の二酸化炭素排出量削減については、今期は業務多忙につき、使用量が前年比28%増加、(走行距離前年比25%増加)となり、次年度も増加の見込み。削減の比較対象としては今期使用量からの削減のほうが現実的なので、今期使用量を改めて基準年値とする。

・ 環境経営計画 変更の必要性 (有) ・ 無)

・ 一般廃棄物の削減目標について、2022年4月から可燃ごみと、プラの分別排出が始まる。環境経営計画の取組内容では『分別の徹底』に該当するので、内容に追加し再資源化へつながるように全員で取組む。

・ 環境経営システム 変更の必要性 (有) (無)

・ 実施体制 変更の必要性 (有) (無)

・ その他 変更の必要性 (有) (無)

【代表者による総括】

・ 2021年度は、前年度に引き続き医療機関の感染対策等の影響により業務依頼が増加した。産廃の収集運搬量は前年比8%増と、取り組みを始めて最高の増加率となった。機密文書の出張シュレッダ量は、前年比4%減となり過去最高値の前年を超えることはできなかった。

環境への取組内容としては、軽油の使用量が前年比28%増と今までで最も多い使用量となり削減はできなかった。収集運搬業務が増加し、処分場へ搬入する回数が増えたことが使用量増加につながった(年間の走行距離が前年比25%増)。

使用量に対する自動車の燃費では、収集運搬業務では前年度1ℓあたり6.56km→今年度1ℓあたり7.17kmと向上している。長距離移動の影響もあるが、効率的に業務に取組めた結果でもある。次年度以降も削減は難しい状況であるが、使用量だけでなく、走行距離と運搬量や燃費など、視点を変えて業務と環境経営の両立を目指す。

そのためにも、年間通した結果だけでなく、毎月や毎週の取組はどうだったかを全員が話し合える場が必要となるので、『業務日報』や、『車両管理表』を有効に活用して環境経営活動に取組む。

シュレッダ業務の、機密文書出張裁断業務については、年間の利用者数は増加したが、裁断量は減った。1件あたりの裁断量の違いもあるが、利用者数を増やし裁断量の増加につながるよう次年度も取組んでいく。

環境経営活動の取組を売り上げにつなげられるように、全員で工夫しながら次年度以降も取組む。

安全で安心して業務を行えるように、各自で感染対策を徹底し、体調管理に気を付けて無理のないよう全員で取組む。